

とうり さと

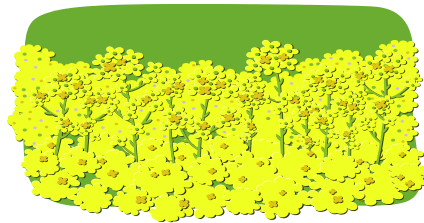
桃李の里

福島市立中野小学校 学校だより

令和2年5月14日発行 (No. 2)

文責：校長 白土 勲

分散登校スタート！



4月8日(水)から長い臨時休業期間が続き、子どもたちも保護者の皆様もストレスがたまってきているのではないのでしょうか。

そのような中、段階的な学校再開に向けて、分散登校がスタートしました。

先生方は、一人ひとりの子どもたちの考えをたくさん引き出すような工夫、前の学年で学習した内容を思い出させるような工夫等、様々な工夫を取り入れ授業を進めてくださっています。



『学校で身に付けた力が地域社会の中で十分に発揮されてこそ、子どもたちの学校での学びが生きた学びへと進化していく』という考えのもと、全職員で学びの充実を図っていきたくと考えております。

子どもたちを伸ばすためには



やってみせ言ってみせて聞かせてさせてみせ、誉めてやらねば人は動かじ。
話し合い耳を傾け承認し、任せてやらねば人は育たず。
やっている姿を感謝で見守って信頼せねば人は実らず。

これは、有名な山本五十六さんの言葉です。私が大切にしている言葉の1つです。

子どもたちの自主性を育ててあげることは間違いなく大切なことですが、大人が大切だと思うことを伝えてあげることも必要だと考えています。

伝え方は、一人ひとりのお子さんによって違いがあると思いますが、保護者の皆様も、お子さんの声に耳を傾けるとともに、考えていることをどんどん伝えてあげてください。

こういう時だからこそ、子どもたちの心に強く残っていくと思います。



【校長のつぶやき】

- 先日、私が校庭で草むしりをしていたら、6年生の宍戸美咲さんが「校長先生、お手伝いします」と声をかけてくれました。大変な時なのに、誰かの役に立つことをしようとする姿勢に、胸がジーンとしました。ありがとう。
- 4年生の木村麗乃さんは、登校日ではないのに、1年生が心配だということで、登校の際に、正門まで一緒に歩いてくれました。子どもたちのさりげない優しさに胸が熱くなりました。